

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
令和7年度 第3回 認知症対策部会 会議録

| | |
|-------------|--|
| 開催日時 | 令和8年3月25日(水) 午後2時00分～午後4時00分 |
| 開催場所 | 生駒メディカルセンター 研修室 |
| 出席者 (委員) | 山上部会長、太田委員、徐委員、佐々木委員、古田委員、尾山委員、大谷委員、中田委員、高原委員、竹田委員、笹本委員 |
| 事務局 | 後藤部長 地域包括ケア推進課 齊藤課長補佐、田村係長、黒松係長、稲垣 |
| 傍聴 | なし |
| 案件 | (1) 前回の振り返りと今後の方向性 (2) 改訂版 生駒市認知症ケアパス (3) ロジックモデルの評価について (4) 生駒市認知症初期集中支援チームの実績報告 (5) 令和7年度認知症対策部会活動報告書(案) (6) 令和8年度の取組内容について (7) その他 |
| 資料 | 会議次第 (資料1) 前回の振り返りと今後の方向性 (資料2) 改訂版 認知症安心ガイド 認知症ケアパス (資料3-1) ロジックモデル(評価シート) (資料3-2) ロードマップ (資料4) 令和7年度認知症対策部会活動報告書(案) (資料5) 令和8年度認知症対策部会(案) |
| 議 事 の 経 過 | |
| 発言者 | 発言内容 |
| 部会長 事務局 | 1 開会 委員の欠席報告 会議の公開、録音了承 2 案件 案件(1) 前回の振り返りと今後の方向性 (資料1により事務局から説明) |
| 委員 | ①本人ミーティング 今年度は本人ミーティングの開催方法を見直し、北・中央・南の3箇所で開催。開催場所はカフェ等、飲食を伴うリラックスした環境で当事者の声を自然に聞けるよう工夫。参加者の定着が進み、本人ミーティングの参加を楽しみにしているとの声が増えた。来年度は開催回数をさらに増やす予定。認知症対策部会員の参加・見学も継続を希望。 (主な意見) ・初回参加では新しいカフェで人が多く、戸惑いもあったが、2回目の |

| | |
|-----|---|
| | <p>見学では地域に馴染みのあるカフェで参加者が自発的に昔話などを話せる環境になっていた。</p> |
| 事務局 | <p>②施設見学 施設見学により、現場の工夫や医療・介護連携の課題を知ることができた。これまでは3年に1回の施設見学だったが、来年度から見学場所を絞って年1回に変更を提案。</p> |
| 委員 | <p>(主な意見) ・施設見学・本人ミーティングへの参加は、無理のない範囲で参加可能な方が参加する形で進めていくのは良い。 ・施設ごとに参加者や家族の有無に差があるが、内容の工夫を継続していく。 →見学施設の選定など、改めて部会員の意見を収集する。</p> |
| 事務局 | <p>案件(2)改訂版 認知症安心ガイド 認知症ケアパスについて (資料2により事務局から説明) 部会員や支援者、関係者の意見を反映し、本人や家族が必要な情報に迷わずアクセスできる構成とした。本冊子には、認知症地域支援推進員が集めた当事者の声や若年性認知症について本人や家族の声を収録。診断直後の不安や日常生活の工夫など、本人・家族が頼れる内容を盛り込んでいる。 配布・活用は医療機関や薬局、介護施設での活用を想定。令和7年度は2,000部を印刷・配布し、令和8年度に増刷を検討。当初は支援者向けだが、診断直後の本人や家族も手に取れるよう配布し、配布場所や窓口は各組織と連携して徐々に拡大する予定。</p> |
| 委員 | <p>(主な意見) ・医療機関での配布は消費が早い傾向。 →配布状況や活用状況を共有し、増刷や今後も軽微な修正等を行っていく。</p> |
| 事務局 | <p>案件(3) ロジックモデルの評価について (資料3-1、3-2により事務局から説明) 昨年度作成したロジックモデルとロードマップをもとに、今年度内容の見直しを実施。この1年間の取り組み実績(生駒市独自の取り組みや県の研修実績など)を整理。実績の評価について、市として適切かどうかは今後さらに検討が必要。 課題の整理: 設定した評価指標が、部会の取り組みや行政職員の活動で数値に反映されるかが不明瞭。現場での政策や支援策が十分に機能する</p> |

| | |
|-----------|---|
| 委員 | <p>よう設計されているか確認が必要。手探りで進めたため、課題が明確化されたことは一定の成果ではある。</p> <p>今後、第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定年にあたり、医療・介護の両立場から具体的にどう動くかを考え、実効性ある取り組みに結びつけたい。ロードマップ・ロジックモデルの見直しは随時行う。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10期計画作成時には、医療・介護の計画と整合性をとり、部会でも現場意見を反映する形が望ましい。 ・PCサイクル(計画・実施・評価・見直し)の回転で改善していくことが重要。 |
| 事務局 | <p>案件(4)生駒市認知症初期集中支援チームの実績報告</p> <p>稼働案件なし</p> <p>(意見なし)</p> |
| 事務局 | <p>案件(5) 令和7年度認知症対策部会活動報告書(案)</p> <p>(資料4により事務局から説明)</p> <p>報告書のとおり。医療介護連携ネットワーク推進協議会に山上部会長から報告いただく。報告書が確定し次第、共有させていただく。</p> <p>(意見なし)</p> |
| 事務局 | <p>案件(6) 令和8年度の取組内容について</p> <p>(資料5より事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症の当事者と意見交換会 <p>来年度、若年性認知症の方に部会に参加いただき、意見交換会を実施予定。過去に診断直後の方から情報を得た課題(通える場所の制限等)を踏まえ、医療・介護の連携について直接意見を聞く機会とする。意見交換会の詳細(日時・形式)は調整中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携研修会 <p>当初予定していた2回開催を1回に減らし、在宅部会との合同開催を予定。開催時期は7～8月を想定。参加対象は入職3年以内の新人職員を中心に設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人ミーティング・施設見学 |
| 委員 事務局 | <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人ミーティングと認知症カフェとの線引きはあるか。 <p>→事務局より説明。</p> <p>本人ミーティングは、当事者主体の意見交換の場として、認知症カフェ</p> |

| | |
|-----|---|
| 部会長 | <p>とは役割が異なる。若年性認知症の方は認知症カフェに参加しにくい傾向があり、参加者を想定した場としての意義がある。</p> <p>長時間にわたりましてありがとうございました。これもちまして、第3回の認知症部会は終了させていただく。ありがとうございました。</p> <p>15：30 閉会</p> |
|-----|---|